



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

■ 第 161 号 ■



核兵器禁止条約への批准が不可欠

ファルマ弘前薬局 薬剤師 小田桐 由衣

8月2日(月)、6日(金)、9日(月)に開催された原水爆禁止世界大会2021

1にZoomウェビナーに参加しました。昨年に続き新型コロナウイルス



職員みんなで作成した千羽鶴を広島へ

感染症が流行する中での開催となりましたが、核兵器禁止条約が発効された記念すべき年にあたる大会であったため参加者の喜びもひとしおでした。講演発表では各国の代表による核兵器に対する意見や、被ばくした当時の生々しい体験談など普段聞くことのない貴重なお話を一度に聴き光栄に思いました。講演者の核兵器反対に対する思いは軍事訓練による大気汚染で沖繩のサンゴが瓦礫化するという環境問題や、ベトナム戦争における枯葉剤被害から感じた苦しみなど様々な方面から核兵器反対を捉えることができるもので非常に興味深

被爆された方々の想いを引き継ぎ広める

ファルマ弘前薬局 中西 茉季

8月2日(月)から9日(月)まで原水爆禁止2021年世界大会が開催されました。8月2日は国際会議で海外の代表者から貴重な「今」を聞くことができました。8月6日はヒロシマデー集会。8月9日はナガサキデー集会でした。この三日間を通して海外の代表者の

方のお話や被爆された方のお話をオンラインでしたが直接聞くことができたのでとてもいい時間になりました。76年前と同じようなことが起こらないように署名や平和運動に参加し、被爆された方々の想いを引き継ぎ、同年代にも広めていきたいと思いました。



原水爆禁止世界大会ヒロシマデー集会 (8月6日)

「核兵器のない平和で公正な社会のために」についてお話をお聴きしました。年々被爆者の高齢化が進み、生の声を聴く機会が減少しています。そんな中でも、被爆者の証言を多くの方に聞いてほしいと訴えていました。



ファルマレンジャー登場!

自分の言葉や行動で伝えていく

ファルマ弘前薬局 主任 須藤 江利加

8月6日(金) 全日本民医連主催の「平和の波交流会」にZoomで参加しました。当日は、原水爆禁止世界大会参加者の2名(小田桐由衣さん、中西茉季さん)に加え、若い職員が集まり大いに盛り上がりました。学習企画として、原水爆禁止日本協議会常任理事の前川史郎氏による「核兵器のない平和で公正な社会のために」についてお話をお聴きしました。年々被爆者の高齢化が進み、生の声を聴く機会が減少しています。そんな中でも、被爆者の証言を多くの方に聞いてほしいと訴えていました。会の最後に、日本各地の取り組み報告が行われ、ファルマからも平和活動に関する報告を行いました。久しぶりにファルマレンジャーも登場し、楽しく参加できました。改めて、若い世代に原爆について語りついでいくためには、原水爆禁止世界大会に参加した人もそうでない人も、話を聞いたのならそれを自分の言葉や行動で誰かに伝えていくことから始まるのではないかと思います。

かったです。また、今年1月に発効した核兵器禁止条約に唯一の被爆国である日本が条約を批准していないことに驚きました。広島や長崎の歴史から分かるように原爆による被害は二度と必要があると感じました。起こしてはいけないうと世界に強く訴えるにはこの条約に日本の参加が不可欠だと考えます。そのためにはこの世界大会により多くの人が集い、核兵器反対を呼びかけていく必要があると感じました。

介護側の人権も守り安心できる社会へ

「ファルマ浪岡薬局の取り組み」

ファルマ浪岡薬局 薬剤師 雪田 友莉恵

ファルマ浪岡薬局では、月に1回朝会終了後に人権カフェの読んだ感想・意見交換をしています。

【人権カフェVol.3 高齢者の人権】では様々な意見が出されました。

- ・日本高齢運動連絡会より、日本高齢者人権宣言があげられているが、内容はそもそも日本の憲法で保障されていることであり、再度宣言をしなければいけない現状に疑問を感じる。人権が粗末にされている表れではないか。
- ・高齢者の人権を守るだけ

でなく、介護側の人権を尊重することが必要。高齢者の希望を叶えるためには社会問題となっている介護の人員不足や賃金労働環境の改善が不可欠。

- ・介護保険制度や75歳以上窓口負担2割化は、受診抑制を生み、さらなる健康被害や医療費増大を生み出す恐れがある。

その他、ヤングケアラーや他国の介護職の社会的地位など、多



積極的に意見交換しています

方面から高齢者の人権について学び、理解を深めました。

考えを共有し深め合う「黒石薬局の取り組み」

黒石薬局 薬局長 大川 誠也



自分の考えをしっかりと話しています

他の薬局や職場でも、学習方法は同じだと思えますが、黒石薬局でも例にもれず、各自で送られてきた人権Caféの記事を事前に読み、話し合える時間的余裕があるときに職場学習を行っています。黒石薬局のポリシーとして、感想文などあつたら必ず職場で披露してから提出することになっています。

そうしないと各自がどのような考えなのか分かっていけませんよね？その感想や意見に対して職場長や他のスタッフから一言出してもらおうスタイルです。みんな恥ずかしがり屋さんですが、話を振ると自分の考えなどをしっかりと答えてくれます。これからの考えを共有しながら学習を深めていきたいと思えます。

思考をまとめ上げていく手法「KJ法」を活用して

「弘前調剤センターの取り組み」

弘前調剤センター 主任 阿保 香織

今回で「人権Café」を用いた学習は3回目になります。

いつもは読んだ感想を共有していましたが、今回は「KJ法」を使って「高齢者の人権について」というテーマで話し合いました。

1番多かったのは「自分らしく生きる権利」についての意見でした。

「世代や所得に関係なく、等しく医療・介護を受ける体制作りを国で行ってほしい」「自分らしく生きるためのケアを社会全体で支えることが必要」などの意見がありました。

それに関連して、北欧の施策や米州条約など他国での取り組みについての意見もあり、現状を改善するために日本に住む私たちにできることは何なのかを改めて考える機会となりました。

「KJ法」が初めてでしたが、こちらの原稿依頼を受け取り組んだ「KJ法」でしたが、また機会をみて活用していきたいと思っています。



取り組みやすかった「KJ法」

新しい社会のために

藤代薬局 薬局長 木村 匡宏

8月8日(日)全日本民医連中長期経営計画実践交流会記念講演「人新世の資本論」未来に向けてどう行動するか「斎藤幸平氏講演会に参加しました。職場でもたびたび気候変動の話題で意見交換をする機会もあり、この機会をとても楽しみに参加しました。

問題の本質は「大量生産、大量消費、大量廃棄」と「格差そのもの」であり問題解決のためには経済成長そのものを止めることと、危機が訪れたときにすべての人が同じリスクを背負い一緒に考えるような社会構造が必要と受け取りました。とんでもない話のように感じますが直

観的に多くの方に共感を得るのではないかと思いました。

触れたことのない考えに大きな感動を覚え、ポスト資本主義が本当に訪れるかもしれないという期待も沸きました。新しい社会のために私たちに何ができるかをこれまでより具体的に考えるきっかけをいただいた貴重な時間だったと思います。



多くの職員が参加

国民のための政治であるように

本部 課長補佐 阿部 千佳子



7月16日(金)市民連合会
おもり主催で法政大学の山
口二郎教授による講演がZ
oomで開催され、ファルマ
からは6名の参加者が本社
会議室にて視聴しました。
テーマは「政権交代に向けた
市民連合の役割」でした。
山口氏は初めに政府がコ
ロナに乗じて緊急事態条
項を創設しようとしている
が、コロナ対策は憲法内
でできることとおっしゃっ

ていました。内閣支持率が
30%を切り、不支持が60%
以上ではあるものの、国民
が野党には期待していない
という現実があることもお
話してくださいました。また、
東京都議選の教訓について
野党共闘の成果は明らかで
あるため、今後の進め方と
して、野党共闘の場合最大
公約的な政策にはなるが
大事なことは盛り込んだも
のに入ること、地域固有の
ものを入れ込むことなども
話されました。
コロナ対策やオリン
ピック開催など現政権がし
てきたことを私たち国民は

国民が本気になって見直すべきもの

藤代薬局 薬剤師 中村 光樹



7月17日(土)、コロナ禍
での初めてのリモート形式
Cisco Webex Meetingsにて
全日本医連被ばく問題交
流集会が開催されました。
今年、被爆76年、ビキニ
事件から67年です。また核
兵器禁止条約が発効(20
21年1月22日)より半年、
更に福島原発事故10年とい
う節目の年です。

東京電力福島第一原発事
故は収束の目処がみえず、
旧避難指示区域の復興を妨
げる大きな要因となってい
ます。
原爆被爆者をはじめビキ
ニ環礁海域の水爆実験被害
者、原発事故による被害者
や原発関連労働者の核被害
の現状と抱える問題を共有
し、民医連として各県連が
何をすべきかを互いに考え
ていくという目的と意義の
下に行われました。
数ある講演があった中
で、私が最も気になった福島

住民の意見で国民健康保険制度の後退を許すな

相談役 高松 利昌



講師の神田敏史氏

青森県社会保障推進協議
会の総会が7月31日、Z o
omを利用して開催され、
どのように評価するのか、
現政権のままでもいいのかど
うかを今回の総選挙は示す
機会だと思っています。国
民のための政治であるよう
に私たち民医連職員は運動
をしていかなければならな
いと思いました。

総会に先立ち「第二期国保
運営方針に見る国保制度改
革のねらいと運動につい
て」と題して神奈川県自治
労連の神田敏史氏の講演が
あり、視聴しました。
第二期国保運営方針策定
は、昨年5月に厚労省が都
道府県国民健康保険運営方
針策定要領において「都道
府県は、県内の市町村の意
見を聴いた上で都道府県国
民健康保険運営方針を策定
すること」としたことに基
づいてのものです。
講演の中で、神田氏は青
森県が国民健康保険につい
て「相互扶助を原則とする

保険制度」と主張している
ことや2025年までに県
内自治体の保険料水準統一
を進める計画であることな
どを説明しました。
現在、平均保険料は県内
自治体で2倍以上の格差が
あります。また、政府は国保
会計赤字対策のための法定
外繰入の解消や生活保護受
給者の国保加入なども目論
んでいます。
講師は、「国や県の動向に
注視しながら、真に社会保
障としての国民健康保険制
度にしていくため、市町村
が住民の立場に立って県な
どに対してきちんと意見が
言えるようにするためにも
住民運動を活発に行おうと
呼び掛けました。

唯一の被爆国でありながら批准しない日本

黒石薬局 薬局長 大川 誠也



核兵器禁止条約、名前の
通り核兵器を使うのはもち
ろん、保有も威嚇も禁止す
るためのもので、一部の国
に核の保有を容認するN
PT(核不拡散条約)とは違
う、画期的な条約であり、50
か国が批准(同意すること)

して2021年1月22日か
ら発効されました。
日本は唯一の被爆国であ
り、戦後も核兵器で引き起
こされた被害を目の当たり
にしてきたことから、当然
この条約に参加すると思
いや、ご存知の通り日本は
参加していません。
これに田中真紀子氏は嘖
みつきます。政界を引退し
て大分経ちましたが、真紀
子節は全く衰えておらず、

画面を通しても圧がすご
かったです。様々な困難を
乗り越え努力して発効まで
至った条約を日本は米国の
核の傘を理由に批准せず、
情けない状況だと容赦なく
切り捨てました。おっしゃ
る通りです。被爆国として
の悲惨さを知っていないが
ら参加しない日本政府に対し
てまさに真紀子砲が炸裂し
た講演でした。

平和とエネルギー

ファルマ弘前薬局 工藤 由希子



風力発電研究の第一人者である牛山氏

7月10日(土)弘前市総
合学習センター視聴覚室
で津軽宗教者9条の会オ
ンラインセミナーが開催
されました。講師は足利
大学理事長の牛山泉氏で
「未来に生かす自然エネル
ギー」についてお話しした
できました。
牛山氏は、エネルギーは
私たちの「衣食住」そして
再生可能エネルギーと
して、太陽光、風力、水力、
地熱、バイオマスなどがあ
ります。まだまだ、利用す
るにあたっての問題など
はありますが、近い未来ど
のように自然と関わり暮
らしていくべきか、一人ひ
とりが本気で考えるとき
なのではないでしょうか。

3才のわたし

ファルマ弘前薬局 薬剤師 神 千穂美

写真は3才の私です。入院していた時のものですが、この時のエピソードを母からよく聞かされていたので紹介したいと思います。

当時の私は小児喘息で体調を崩しやすく、入院することも度々ありました。そのため注射や薬には慣れており、この時も毎日の薬は抵抗なく飲んでいました。しかし退院が近づいたある日、看護師さんから「これを飲んだら退院できるよ」と渡された薬を断固拒否。今まで素直に飲んでいたので、と母が聞くと「色がついているから嫌」という理由。白からオレンジ色の粉薬に変わったことが原因でした。

「病気になるのに無理やり飲ませるのはかわいそう」と思った母の説得で『チョコレートを食べたら飲む』という交換条件が私から出されました。しかし17時を過ぎて売店は閉店。母は決して近くはないコンビニへ走りました。「本当は毎日薬を飲むのも嫌だったのかもしれない、丈夫な体に生んであげられなくてごめんね」と病室の娘に謝りながら。

息も絶え絶えに病室に戻り、これで薬を飲んでくれるはず、とチョコレートを差し出した母。そんな母に私は「そんなこと言ったっけ?」と一言。すつとぼけたそうです。ちょうど写真のような顔でチョコレートを食べながら。

その後なんとか薬は飲んだらしいのですが、我が子を心配する親心を利用され、3才の子供に騙されたという事実は母に強い衝撃を与えました。今でも時折思い出し「あれは詐欺だ!」と怒っています。かくいう私は、まあ覚えていませんので「その節は…」と曖昧に謝るのでした。



大好きなチョコを食べる神薬剤師

新人紹介



ファルマ弘前薬局 薬剤師 相馬由衣佳

6月14日よりファルマ弘前薬局で働かせていただくことになりました、相馬由衣佳と申します。以前も調剤薬局で勤務しており、再びその経験を嬉しく思っております。現在ファルマ弘前薬局では調剤助手をしています。経験のない業務が沢山ある



ファルマ弘前薬局 薬剤師 赤石友美恵

6月28日よりファルマ弘前薬局で働いております。前職は動物病院で受付事務をしていました。今までは犬

り覚えることも多いですが、周りのスタッフの方々が丁寧にご指導してくださるお陰で充実した日々を過ごすことができています。これからも、積極的に業務に取り組み頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

や猫の健康や命を救う仕事でしたが、コロナ禍での生活が当たり前になり、少しでも人の医療に関わりたいと思ひ、この仕事を運びました。初めて知ることも多く、至らない部分もあるかと思ひますが、一所懸命頑張りたいです。また、転職に伴い初めて弘前で暮らすので行ったことのない所に行くのがとても楽しみです。コロナ禍の中で気持ちに余裕がなく、不安になることがあります。仕事でもプライベートでも思いやりを忘れず過ごしたいと思ひます。

実践的なスキルが身についた

岩手医科大学 小野尚篤



実務実習生の小野尚篤さん

まず、弘前調剤センターで実習を行い、薬剤の種類が多さに驚きました。1週目から様々な調剤を制限なく行ったり、服薬指導もやらせていただいたり、在宅訪問の同行や地域ケア会議の見学、ファルマ弘前薬局での勉強会やメーカーの新薬説明会に参加したり、黒石薬局では医師の往診にも同行したりと濃い内容の実習



ピッキングをする様子

をできたと思ひます。指導してくださった薬剤師の先生方や職場の皆さんに色々なことを教えていただき、実践的なスキルが身についたと感じます。本当にありがとうございます！

写真紹介

楽しく学ぶ

7月17日(土)ちとせ会館で津軽保健生協黒石支部主催の出張出前講座が開催され、健康運動アドバイザーのファルマ弘前薬局須藤主任による健康体操と黒石薬局の大川薬局長より健康に関するお話がありました。参加者は13名で、どちらも「とても楽しかった」と好評でした。



みんなで楽しく健康体操♪

戦争する国づくりストップ

7月25日(日)弘前駅前りんご広場で憲法9条守れ、戦争法廃止!集会とパレードが開催されました。とても暑い日でしたがファルマからは10名が参加し、コロナ感染リスクが高まる東京オリンピックの中止や戦争する国づくり反対を訴えました。



暑さに負けず10名が参加